

【ハイブリッド開催】2025年7月3日(木)・4日(金)

RQES2025S

第33回

品質工学研究発表大会

大会会場／統計数理研究所 大会議室, セミナー室1, 2, 5 (大会受付 2F会議室1)

主催／一般社団法人 品質工学会

協賛／大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所

(公社)計測自動制御学会 (公社)精密工学会 (一財)先端加工機械技術振興協会 (一社)中部品質管理協会

(一社)電気学会 (株)日刊工業新聞社 (一社)日本画像学会 (一社)日本機械学会 (一財)日本規格協会

(一社)日本合成樹脂技術協会 (公社)日本設計工学会 (一社)プラスチック成形加工学会 (一社)日本能率協会

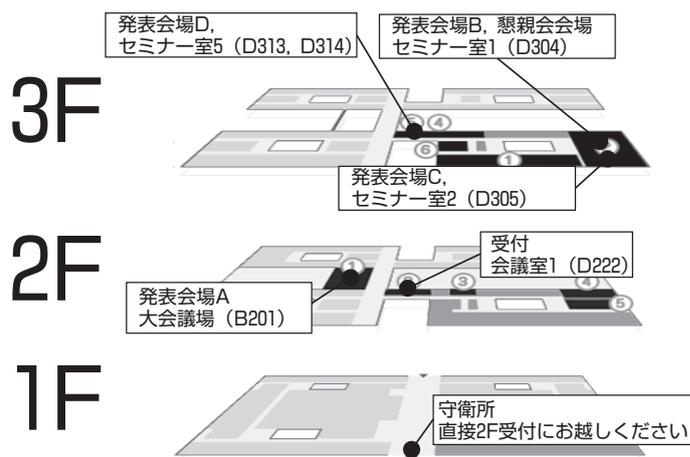
(一財)日本科学技術連盟 日本クオリティ協議会 (NPO)日本TRIZ協会

会場略図

大会受付／統計数理研究所 2F 会議室1 (東京都立川市緑町10-3)

懇親会／統計数理研究所 3F セミナー室1

交通のご案内／JR中央線 立川駅下車 多摩モノレールに乗り換え 高松駅下車 徒歩10分



研究発表大会へのお誘い

大会実行委員長 浜田 和孝

第33回品質工学研究発表大会 (RQES2025S) が開催されます。昨年に引き続き、統計数理研究所を会場とし、2025年7月3日・4日の2日間、現地とオンラインのハイブリッド形式で実施します。

本大会は、品質工学の最新技術や応用事例の共有、研究成果の発表、そして参加者同士の活発な議論を通じて、より実践的な知見を深める場です。今年は60件の発表が予定されており、研究会OSではNMS・神奈川・関西・広島 の4研究会合同で8件、静岡・香川品質工学研究会で15件、一般セッションで37件の発表が行われます。

発表内容は、「MTシステムを用いた表面粗さ曲線の解析」「DFSSによる次世代低温熱源排熱回収システムの技術開発」「T法とベイズ最適化を用いた下流工程のパラメータ最適化」「MT法とマイクロコントローラを用いた金型温度監視システムのDX化の検討」など、理論研究から実務応用まで多岐にわたります。また、「言語データをを用いるMT法の試み」「二足歩行モビリティデザインにおけるバーチャルリアリティ活用」「生成AIを活用したパラメータ設計による社会実験」「深層学習モデルを用いた画像特徴の抽出とMTシステムによる分析」「不確かさの定量化技術を活用したCAEと実測

データの融合によるベイズ統計モデルキャリブレーション」など、最新技術を活用、融合した研究も発表予定です。

さらに、「学校教育におけるC6カンファレンス行列による接着強度のパラメータ設計」「遊んで学ぶQE教材『技術者の大冒険』」「作って気付くQE教材『技術者の大冒険』」など、教育分野での品質工学活用事例も多数紹介されます。

本大会の特徴として、発表後のポスター展示により、発表者と参加者が直接議論を深める機会が提供されます。また、4つの会場で並行して発表が行われるため、関心のあるセッションを自由に選び、質の高いディスカッションに参加できます。加えて、フロントローディングの実現や人材育成に関するパネルディスカッションも企画され、品質工学の未来について多角的に議論が交わされる場となります。

品質工学の最前線に触れ、新たな知見を得るとともに、研究者・技術者同士のネットワークを広げる絶好の機会です。現地・オンラインともに参加可能ですので、ぜひご参加ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第33回

品質工学研究発表大会

7月3日(木)

基調講演, 特別講演: 発表会場A (統計数理研究所 2F)

9:50~	受付開始 オンライン会場: 10:05よりログイン開始
10:20~11:10	基調講演 「これからの品質工学について」 (一社)品質工学会 会長 佐藤 吉治
11:10~12:00	特別講演 「マツダにおける品質工学の取り組み」 (一社)品質工学会 副会長・組織統括長 武重 伸秀

7月3日(木)

発表 (OS・自由討論): 発表会場A (統計数理研究所 2F), 発表会場B~D (統計数理研究所 3F)

発表会場A	新しい分野への適用1 13:00~14:40	1	T法とベイズ最適化を用いた下流工程におけるパラメータ最適化	藤本 武文	ローム・アポロ(株)
		2	生成AIを活用したパラメータ設計による社会実験の試み	佐々木市郎	元アルプスアルバイン(株)
		3	直交表を活用した深層学習開発の効率化の検討	小島 和浩	コニカミノルタ(株)
		4	不確かさの定量化技術を活用したCAEと実測データの融合によるベイズ統計モデルキャリブレーション	中野 智宏	計測エンジニアリングシステム(株)
	新しい分野への適用2 15:00~16:40	5	言語データを用いるMT法の試み	越水 重臣	東京都立産業技術大学院大学
		6	深層学習モデルを用いた画像特徴の抽出とMTシステムによる分析	植 英規	福島工業高等専門学校
		7	エネルギー解放率を基本機能に適用した金属AMサポートの除去容易性の研究	佐藤凜太郎	九州工業大学
		8	金属3Dプリンタの精度向上・安定化に向けた試行検証	安井 太一	YKK(株)
発表会場B	成形技術への適用 13:00~14:40	9	全世界共通品質を狙った射出成形色替作業における評価技術開発と色替時間短縮実現への研究	牧野 圭純	YKK(株)
		10	T法(1)を用いた鋳造部品の品質ばらつきに寄与する重要因子の特定	川口 元志	マツダ(株)
		11	オンライン金型温度監視システムのDX化及び解析手法の検討	工藤 恵梧	埼玉工業大学
	12	MT法とマイクロコントローラを用いた金型温度監視システムのDX化の検討	阿部 優太	埼玉工業大学	
MTシステムとデータ 15:00~15:50	13	データベースの作り方の違いによるMT法手法の比較	牧野 和昭	中部品質工学研究会	
	14	リモートセンシングデータを活用した養殖カキの成長予測	高辻 英之	広島県立総合技術研究所	
発表会場C	フロントローディングの実現に向けて 13:00~14:40	15	リニアエンコーダを組み込んだ製品の市場におけるロバスト性評価	浅利 珠美	(株)ミットヨ
		16	DFSSによる次世代低温熱源排熱回収システムの技術開発	阿部 誠	(株)いすゞ中央研究所
		17	装置をムダなく、より効果的に使う方法	伊藤 浩	独立コンサルタント
	フロントローディングを支える人材育成 15:00~16:40	18	パネルディスカッション「フロントローディングの実現に向けて」	吉原 均	NMS研究会
		19	遊んで学ぶ QE教材「技術者の大冒険」	嶋崎 庸介	関西品質工学研究会
		20	作って気付く QE教材「技術者の大冒険」	鐵見 太郎	関西品質工学研究会
発表会場D	L ₁₈ と1因子実験の最適条件値と完備型最大値の比較 13:00~14:40	21	未来を担う人を育てる 広島の場合スタディ	武重 伸秀	広島品質工学研究会
		22	パネルディスカッション「フロントローディングを支える人材育成」	吉村 孝史	広島品質工学研究会
		23	総当たり実験と一因子実験の比較による再現性の検証	貞松 伊鶴	静岡品質工学研究会
		24	電気回路と材料ひずみ研究における一因子実験と完備型実験の最大値条件の比較検証	森 輝雄	静岡品質工学研究会
	不整合問題と実験数低減・交互作用 15:00~16:40	25	最少実験数による最適条件値の最大化と確認方法の検証	田中 誠	静岡品質工学研究会
		26	数値実験における一因子実験と完備型実験との最大値条件の比較検証	森 輝雄	静岡品質工学研究会
		27	パラメータ設計における田口フィロソフィーと割り付け・解析の不整合問題	森 輝雄	静岡品質工学研究会
		28	汎用C4, C6, C8のコアとボデーを正負符号反転による計画行列の発生方法	田辺総一郎	中央大学
		29	二次式モデル回帰分析用計画行列の実験数少数化の方法	中川 謙一	パラミ研
		30	名義変数を含む実験計画において交互作用を求める一手法の提案	中川 謙一	パラミ研

☆発表: 1テーマ15分 (発表10分, 質疑5分)

☆ポスター展示: 各発表会場内に展示

☆発表後, ポスター展示前にて討論が可能です。(ポスター前討論40分) 尚, リモートでの参加者はポスター前討論には参加できません。

☆特別講演および特別企画は, 発表会場Aセッションで配信します。

☆懇親会: 7月3日 (大会1日目) 17:00~18:30, 統計数理研究所 3F セミナー室1

☆議論の元となる発表概要については, 4月末に学会HPにて公開します。大会開催の最新情報を学会HP (<https://www.rqes.or.jp/>) で確認ください。

7月4日(金)

発表 (OS・自由討論) : 発表会場A (統計数理研究所 2F), 発表会場B ~ D (統計数理研究所 3F)

9:15~		受付開始 オンライン会場：10:05よりログイン開始			
発表会場A	CAEとパラメータ設計 10:20~12:00	31	シミュレーションを用いたL ₃ 直和法による反転加工の11種類のダイスの順位付けと最適化	萩原 信行	日本精工(株)
		32	パラメータ設計を用いた門型マシニングセンタでのガンドリル加工条件最適化	音丸 拓海	マツダ(株)
		33	フィラーリッドシステムを題材とした機能開発によるフロントローディング第2報	三石 直人	マツダ(株)
		34	温室効果ガスの分離過程を対象としたシミュレーションによる構想段階のパラメータ設計の研究	近藤 芳昭	NMS研究会
	MTシステムと診断 13:00~14:40	35	MTシステムを用いた表面粗さ曲線の解析	児野 武郎	長野県工業技術総合センター
		36	赤外分光法による樹脂熱劣化のRT法による劣化判別	白石 直之	矢崎総業(株)
		37	砥石接触音のMT法解析によるダイヤモンド砥石のツルーイング良否判定	岡安 賢也	日本工業大学
		38	MT法によるせん断応力試験の測定異常の検知	鈴木 宏保	ローム(株)
発表会場B	加工と信頼性 10:20~12:00	39	ゲート電極の信頼性ばらつきに対する洗浄工程の影響評価と条件の可視化	高村 光希	ローム・アポロ(株)
		40	補正加工実現へ向けた金型機械加工誤差予測手法開発	上村 健祐	マツダ(株)
		41	ファスナー製造に対する工程を限定しない超音波発振器の評価技術開発と機能性評価によるバリデーション活動	岩寺 信行	YKK(株)
		42	超硬合金粉末製造における攪拌乾燥工程の最適化	野澤 大成	(株)ノトアロイ
	ロボティクスへの応用 13:00~14:40	43	歩行機械向けソフトアクチュエータの品質工学的研究 - McKibben型ゴム人工筋肉を対象として -	湯本 賢	埼玉工業大学大学院
44		降着姿勢変形機構を備えた二足歩行型モビリティの歩行安定化設計の研究	首藤 海斗	埼玉工業大学大学院	
45		二足歩行モビリティデザインにおけるバーチャルパラメータ設計へのバーチャルリアリティの活用のための研究	森 基	埼玉工業大学大学院	
発表会場C	設計の効率化 10:20~12:00	46	熱式質量流量センサのゼロ点安定性改善と、開発プロセスの効率化に関する取り組み	岡野 浩之	(株)堀場エステック
		47	身の回りにおける真値の活用研究	佐々木市郎	元アルプスアルパイン(株)
		48	設計FMEAへの品質工学の活用	三浦 智宣	アルプスアルパイン(株)
		49	正しい納期回答実現に向けた内製機械組立工数設定評価技術の研究	谷野 公亮	YKK(株)
	人材育成 13:00~14:40	50	タグチメソッドの演習教材「投てき機」「紙コプター」	日座 和典	(株)日立アカデミー
		51	バーチャル品質工学によるひとつづくり(2)	水田 匡彦	日田市立東溪小学校
		52	「善の巡環」の理念がもたらす樹脂材料切断方法の評価技術開発と品質工学エコサイクルの活用	澤井 達範	YKK(株)
		53	「善の巡環」理念に基づく人材育成を狙った下学上達の品質工学実務展開研究	畠山 鎮	YKK(株)
		発表会場D	カンファレンスC行列と応用事例 10:20~12:00	54	薬品合成の応答曲面解析への[a, b]解析の適用
55	L ₂₇ , L ₁₈ , C6と[a, b]解析L ₄ , C4による特性改善の比較			田辺総一郎	中央大学
56	C4カンファレンス行列による小型モータの省電力設計と分類因子の割付			森 輝雄	静岡品質工学研究会
教育と設計 13:00~14:40	57		焼成過程中に追加投入する稲葉天目茶碗の星紋再現	森 輝雄	静岡品質工学研究会
	58		MT法による学生の測定能力予測	岩永 禎之	四国職業能力開発大学校
	59		学校教育におけるC6カンファレンス行列によるアルミ両面テープの接着強度のパラメータ設計	森 輝雄	静岡品質工学研究会
60	学校教育におけるC4カンファレンス行列による小型モータの特性改善事例	森 輝雄	静岡品質工学研究会		

7月4日(金)

来賓挨拶, 受賞記念講演, 表彰式 : 発表会場A (統計数理研究所 2F)

15:20~15:30	来賓挨拶 経済産業省 大臣官房審議官 今村 亘 一般財団法人 日本規格協会 理事長 朝日 弘 精密測定技術振興財団 常務理事 事務局長 高増 潔
15:30~16:30	受賞記念講演 品質工学会 ASI賞・精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞銀賞, 金賞
16:40~17:40	表彰式 品質工学会貢献賞・学生賞・品質工学会日本規格協会理事長賞・品質工学会ASI賞・精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞・品質工学研究発表大会実行委員長賞・品質工学研究発表大会品質工学会会長賞・精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞

申込要領

申込方法

品質工学会ホームページより

【第33回品質工学研究発表大会 参加申込フォーム】からお申込みください。

URL : <https://www.rqes.or.jp/>



参加費

●正会員：10,000円 ●学生会員：3,000円 ●非会員：20,000円
●学生非会員：6,500円 ●懇親会：6,000円（税込）

支払方法

〈銀行振込〉または〈クレジットカード払い〉にてお支払ください。
(参加申込時に支払い方法をお選びください。)

申込締切

2025年6月20日(金)

オンライン会場略図

オンライン講座・イベント

ログインページ

<https://app.rqes.or.jp/online/start/>



発表会場A：講座番号 401

発表会場B：講座番号 402

発表会場C：講座番号 403

発表会場D：講座番号 404

品質工学会 会員募集中！

新規入会し、会員として大会参加

品質工学会では、品質工学に興味をお持ちの方、品質工学の色々な情報を知りたいという方々のために会員を募集しております。いま加入していただけますと、今年度の学会誌を入手できるとともに、研究発表大会に会員価格で参加できます。

会費

正会員／年額10,000円＋入会金2,000円
学生会員／年額3,000円＋入会金1,000円

《入会方法》

品質工学会ホームページの事務局ページ《入会申込》よりお手続きください。

入会申込フォーム最後の【備考】に「第33回品質工学研究発表大会に参加希望」とご入力ください。

入会申込後、会員番号とパスワードを発行し、メールにてお知らせします。

メール到着後、学会ホームページより大会参加の申込みを行ってください。

※ 入会手続きには数日から一週間ほど時間がかかります。

ご入会後に大会へ参加を予定している方は、お早めにお手続きください。

参加申込から大会当日までのスケジュール

- ① 品質工学会ホームページより申込み（2025年4月中旬より受付）
- ② 参加申込後、自動返信メールにて参加受付番号をお知らせ
- ③ 7月3日(木) 1日目（10時5分よりログイン開始）
7月4日(金) 2日目（10時5分よりログイン開始）

●参加番号や接続についてのお知らせは全てメールにて配信させていただきます。

●キャンセルは2025年6月20日(金)まで受け付けます。

●期日を過ぎてからのキャンセルや、大会当日に欠席された場合でも参加費はお支払いいただきます。

参加申込・その他問い合わせは、以下の方法で学会事務局までお願いいたします。

品質工学会ホームページ→事務局ページ→お問い合わせはこちら

大会実行委員会

実行委員長	／浜田 和孝	Hamada Quality Solution
副実行委員長	／衛藤 洋仁	いすゞ自動車(株)
幹事	／山戸田武史	(株)IDAJ
副幹事	／高松喜久雄	(株)IHI
実行委員（50音順）	／浅利 珠美	(株)ミツトヨ
	飯岡 淳	コニカミノルタ(株)
	今津 貴文	(株)IHI
	岸 知男	エスケー石鹸(株)
	高倉裕太郎	いすゞ自動車(株)
	田村 康平	カヤバ(株)
	山田 泰聖	日本規格協会ソリューションズ(株)
	山野 竹秀	アルプスアルパイン(株)
	吉田 智行	日産自動車(株)
	和田 貴秀	理想科学工業(株)
	渡邊 諒	富士フィルムビジネスイノベーション(株)
地域委員（50音順）	／佐伯健太郎	三菱重工(株)
	水野健一郎	広島県立総合技術研究所
事務局	／金野友香里	(一社)品質工学会